

契約担当官
航空自衛隊第4術科学学校
会計課長 加藤 弘助



公 告

下記により一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」を熟知の上、参加されたい。

記

- 1 競争入札に付する事項
 - (1) 品名(件名) : 部外委託講習(サイバーセキュリティ関連資格)
 - (2) 規格・単位・数量 : 仕様書のとおり
 - (3) 履行場所 : 航空自衛隊熊谷基地
 - (4) 履行期間 : 契約締結日 ～ 令和8年11月30日
- 2 入札日時 令和8年9月24日(木) 13時30分
- 3 入札場所 航空自衛隊熊谷基地会計課入札室
- 4 入札参加資格
 - (1) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当する者でないこと。
 - (2) 次の資格を付与されていること。
 - ア 資格 防衛省競争参加資格・全省庁統一資格
 - イ 年度 令和7.8.9年度
 - ウ 種別 役務の提供等
 - エ 地域 関東甲信越
 - オ 等級 A B C D
 - (3) 防衛装備庁長官から又は航空幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
 - (4) 前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
 - (5) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を防衛装備庁長官が認めた場合には、この限りではない。
- 5 入札方法 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
なお、入札書に記載された金額の100分の110に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとし、当該端数を切り捨てた後に得られる金額をもって、申込みがあったものとする。
- 6 保証金 入札保証金 免除
契約保証金 免除
- 7 契約方法 確定契約
- 8 決定方式 総額決定
- 9 入札の無効
 - (1) 4の参加資格のない者のした入札、又は入札に関する条件に反した入札は無効とする。
 - (2) FAX等による入札は認めない。
- 10 契約書作成の有無 有
- 11 適用する契約条項 航空自衛隊標準契約(請書)条項、委託契約条項及び適用契約条項の関係条項による。
- 12 契約条項を示す場所 航空自衛隊熊谷基地会計課及び熊谷基地ホームページ内
- 13 その他
 - (1) 入札参加希望者は、全省庁統一資格の資格審査結果通知書の写しを入札日時までに提出すること。
 - (2) 代理人の入札参加は、委任状を持参すること。
 - (3) 郵便による入札を可とする。配達記録を有する手段により入札日時前日までに必着とする。
なお、抽選の場合で、くじを引かない者があるときは、予決令第83条2項により、入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。
 - (4) 郵便等で提出する入札書は、入札投函用の封筒に1(1)に記載されている入札件名を明記して封をしたのち、その封筒を郵送用封筒の中に入れ発送すること。その際に使用する筆記具の色は問わないものとする。
 - (5) 本書記載事項の詳細、その他不明な点については会計課契約班に照会のこと。
電話 : 048-532-3554 FAX:048-532-4152 【担当 : 高橋(内線 286)】
 - (6) 仕様書の内容等に係る質問は、要求元担当者に照会されたい。
第1教育部サイバー教育科 【担当 : 川野(内線 416)】

入札書

下記のとおり、「入札及び契約心得」並びに入札条件等承諾の上提出します。

契約担当官
航空自衛隊第4術科学校
会計課長 加藤 弘助 殿

令和8年9月24日

住所
会社名
代表者名

履行期間	契約締結日～令和8年11月30日	履行場所		航空自衛隊熊谷基地	
品名（件名）	規格	単位	数量	単価	金額
部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）	仕様書のとおり	式	1		
	以下余白				
入札金額	¥				

委任状

契約担当官
航空自衛隊第4術科学校
会計課長 加藤 弘助 殿

私は、印 を代理人と定め、

下記の権限を委任します。

記

部外委託講習(サイバーセキュリティ関連資格)
の入札に関する一切の件

令和8年9月24日

住 所
会 社 名
代表者名

価 格 調 査 書

契約担当官
航空自衛隊第4術科学校
会計課長 加藤 弘助 殿

令和8年9月18日

住 所
会 社 名
代表者名
〒

品 名	規 格	単位	数量	単 価	金 額
部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）	仕様書のとおり	式	1		
（ 内 訳 ）					
1 講習費	人件費等含む	日	5		
2 教材費					
（1）Web確認問題		式	1		
（2）Study Guide eBook		式	1		
（3）Cert Master Labs		式	1		
（4）Network+に関する補助教材	紙媒体	式	1		
3 講習準備費	機材費用等含む	式	1		
4 諸経費	交通費、宿泊費等含む	式	1		
	以下余白				
履 行 期 間	契約締結日 ～ 令和8年11月30日				
履 行 場 所	航空自衛隊熊谷基地				

航空自衛隊熊谷基地役務仕様書				
仕 様 書 の 種 類	内容による分類	役務仕様書	仕様書番号	
	性質による分類	個別仕様書	熊基（1教）－L P S－X 0 0 3	
物品番号			承 認	令和8年 5月18日
件 名	部外委託講習（サイバーセキュリ ティ関連資格）		作 成	令和8年 5月12日
			改 正	令和 年 月 日
		作成部隊等 名	第4術科学学校第1教育部	
1 総則				
(1) 適用範囲				
本仕様書は、航空自衛隊熊谷基地において実施する部外委託講習（サイバーセ キュリティ関連資格）について規定する。				
(2) 用語及び定義				
本仕様書で用いる主な用語及び定義は、次による。				
ア サイバー攻撃等				
サイバー攻撃（ネットワークを通じた情報システムへの電子的な攻撃をい う。）及びサイバー攻撃と同様の影響を発生させる情報システムの誤操作並び にサイバー攻撃以外によるコンピュータウイルスの混入等をいう。				
イ CompTIA（the Computing Industry Association）				
I T 関連資格・認定を行っている I T 業界団体をいう。				
ウ CompTIA Network+				
ネットワーク技術に携わる職種において、実務上共通して必須なネットワー クの構成、運用、トラブルシューティングなどのスキル及び仮想化などのスキ ルを網羅するCompTIAが認定する資格をいう。				
エ CompTIA Security+				
セキュリティを考慮したネットワーク設計、リスクマネジメントやアイデ ンティティ管理などのスキルを網羅するCompTIAが認定する資格をいう				
オ 講師				
本仕様書に基づき、講義を実施する契約相手方をいう。				
カ 講習教材				
講習に使用するCompTIAアカウントをいう。				
キ 実習器材				
講習に使用するパソコン及びWi-Fiルータをいう。				
ク 講習資料				
本仕様書に基づき、講義の実施にあたって、契約相手方が作成し、講義に使 用する資料をいう				
ケ CompTIAアカウント				
CompTIA社が提供する、電子書籍及びCertMaster Labsを閲覧する権限を いう。				

分類番号：A－40－034

作成年度：2026年度

保存期間：5年

枚 数：7枚

保存期間満了時期：2032. 3. 31

開示判断：開示

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
(3) 引用文書 ア 防衛省の情報保証に関する訓令（平成19年防衛省訓令第160号） イ 地方調達に係る標準監督・検査実施要領 ウ IT利用装備品等及びIT利用装備品等関連役務の調達におけるサプライチェーン・リスクへの対応について（通知）（装管調第807号令和3年1月21日） 2 役務に関する要求 (1) 共通事項 契約相手方は、講習参加者に対し、コンピュータ・セキュリティに関する知識及びサイバー攻撃等に対する知識、技能を習得、向上させるため、対面による講義及びCertMaster Labsを使用した実習によるCompTIA Network+又はCompTIA Security+相当あるいはその両方の講習を実施する。 (2) 役務内容 ア 履行期間 調達要領指定書による。 イ 実施部隊 実施部隊は、調達要領指定書により、次の部隊から示す。 (ア) 第4術科学校第1教育部第1科（航空自衛隊熊谷基地） (イ) 第4術科学校第2教育部第4科（航空自衛隊熊谷基地） ウ 講習参加者数 調達要領指定書による。 エ 講習内容 講習内容は、調達要領指定書により、次の項目から示す。 なお、細部実施事項は表1のとおり。 (ア) CompTIA Network+相当 (イ) CompTIA Security+相当 オ 講習形式 講師と講習参加者の対面による講義方式及びCertMaster Labsを使用する実習形式とし、実習器材は実施部隊が準備する。 なお、講習教材は契約相手方が準備し、数量については、調達要領指定書による。 カ 講習資料 (ア) 契約相手方は、契約締結後、必要に応じて講習資料を準備する。 (イ) 講習資料は、日本語で記述されていること。 (ウ) 講習資料に使用する略語及び専門用語については、説明を入れること。 (3) 講師の資格要件等 講師については、契約の相手方の社員または、契約講師とし、次の条件を満たす者とする。 ア CompTIAトレーニングパートナーの認定を有する。 イ 過去3年以内に“CompTIA Security+”の講習又は“CompTIA Network+”の講習の実施実績を有する。 ウ 日本語が堪能な者とし、表1に示す講習内容について、日本語による講習及び質疑応答ができる。 3 講習実施要領 講師は、次の事項を実施する。 (1) 講師は、講習期間中に生じた講義参加者の質疑に応じる。 (2) 天候等、やむを得ない理由により実施できない場合は、契約相手方と第2項第2号アに示す実施部隊の長と調整する。 (3) 講師は、当日の講習内容について、講習日報を監督官に提出する。 4 監督及び検査 監督及び検査は、地方調達に係る標準監督・検査実施要領（補本計第140号10.3.19別冊第1）による。	

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
5 その他 (1) 提出書類等 提出書類は、次によるほか、表2よる。 ア CompTIA講習実施計画書 契約相手方は、講義開始の1週間前までに次の事項を記載した実施計画書を提出する。 なお、提出にあたっては、事前に監督官の確認を受けた後、実施部隊の長の承認を受ける。 (ア) 講習概要 (イ) 全体計画 (ウ) カリキュラム及びスケジュール（時程含む。） (エ) 持ち込み機材 (オ) その他、被支援要望 イ 講師名簿 契約相手方は、契約締結後速やかに、講義を行う講師が講師要件等を満たしている事を証明する書類（別紙様式）を作成し、事前に監督官の確認を受けた後、実施部隊の長の承認を受け、提出する。 ウ 講習教材資料 契約の相手方は、表3に示す教材資料一覧から、第2項第2号エに示す講習に必要なCompTIAアカウントを講義開始の1週間前までに実施部隊の長に提出する。 エ 講習日報 契約の相手方は、次の事項を記載した講習日報を提出する。 (ア) 講師氏名 (イ) 実施年月日 (ウ) 講習内容（実施時間を含む） (エ) 進捗状況 (オ) その他報告すべき事項 オ 講習修了証明書 契約相手方は、計画された全ての講義終了後、講習参加者に対して講習修了証明書（様式随意）を提出する。 カ 講習資料 講習のために作成し、使用した講習資料については、電子データにより提出する。 (2) 個人情報 ア 契約相手方は、契約の履行に際し知り得た個人情報について、他の目的で利用し、また、第3者に提供してはならない。 イ 契約相手方は、個人情報の取扱いについては、実施部隊の長の指示に従う。 (3) 情報保証 契約相手方は、情報通信機器及び可搬記憶媒体を基地内へ持ち込む場合は、防衛省の情報保証に関する訓令（平成19年防衛省訓令第160号）及びIT利用装備品等及びIT利用装備品等関連役務の調達におけるサプライチェーン・リスクへの対応について（通知）（装管調第807号令和3年1月21日）によるものとし、実施部隊の長に申し出るとともに、その指示に従う。 (4) 官側における支援 契約相手方は、次によるほか、役務の実施にあたり官側の支援を必要とする場合、実施部隊の長と協議の上、許可を得た範囲で支援を受ける。 ア 講師の休憩場所の提供 イ 官側の保有する施設、設備、機器、電力、用水等の無償使用 ウ 情報通信機器及び可搬記憶媒体の持ち込み手続きに関する支援 エ その他、官側が必要と認めた事項 (5) 基地への入門 契約相手方は、官側が定める入門手続きにより入門するものとする。 6 本仕様書の疑義 この仕様書に疑義を生じた場合は、その都度速やかに実施部隊の長と協議の上、その指示に従うものとする。	

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
-----	------------------------

表 1－講習内容（基準）

講習範囲	内容
CompTIA Network+	以下の項目について実施し、CompTIA Network+相当の知識を理解することができる。 1 ネットワークの基礎知識 2 ネットワークの実装に関する知識 3 ネットワークオペレーションに関する知識 4 ネットワークセキュリティの基礎知識 5 トラブルシューティングに関する知識 6 ネットワーク理論，業界標準，標準手法の基礎知識 7 CertMaster Labsを使用した実習 8 理解度確認
CompTIA Security+	以下の項目について実施し、CompTIA Security+相当の知識を理解することができる。 1 情報セキュリティの基本的な概念 2 暗号の基本的な技術 3 ネットワークセキュリティ 4 ネットワーク及び情報システムに対する脅威と対策 5 CertMaster Labsを使用した実習 6 理解度確認
注記 講習内容については，最新の情報について講習を行う。	

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
-----	------------------------

表 2－提出書類

提出書類	秘等 区分	媒体 種別	提出先 及び部 数	提出期限	仕様書 項番
			実施部 隊		
			b)		
CompTIA 講習実施計画書 () ^{a)}	—	紙	1	講義開始の 1 週 間前まで	第 5 項 第 1 号 ア
講師名簿	—	紙	1	講習開始の 1 週 間前まで	第 5 項 第 1 号 イ
講習教材資料 ^{c)}	—	紙また は電子 データ	1	講習開始の 1 週 間前まで	第 5 項 第 1 号 ウ
講習日報	—	紙	1 ^{d)}	講習当日	第 5 項 第 1 号 エ
講習修了証明書	—	紙	講習修 了者数	全講習終了 後、速やかに	第 5 項 第 1 号 オ
講習資料 ^{e)}	—	紙また は電子 データ ^{f)}	1	講習開始の 1 週間前まで 事前に科長の 承認	第 5 項 第 1 号 カ
注記	提出書類の様式は PDF とする。				
注 ^{a)}	括弧内には実施期間が入る。				
注 ^{b)}	実施部隊は、調達要領指定書による。				
注 ^{c)}	調達要領指定書に指定が無い場合、未提出とする。				
注 ^{d)}	講習の都度提出				
注 ^{e)}	作成がない場合は、未提出とする。				
注 ^{f)}	電子データによる提出の場合、電子メールによる送付とする。				

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
-----	------------------------

表 3－講習教材一覧

番号	CompTIA アカウント品名
1	CertMaster Labs for Network+
2	Network+ Self-Paced Study Guide eBook
3	CertMaster Labs for Security+
4	Security+ Self-Paced Study Guide eBook
注記 講習内容に応じ，最新の CompTIA アカウントを準備する。	

件 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）
-----	------------------------

別紙様式

講師名簿

No	氏名	年齢	日本語による過去3年間の講習実績（期間）	
			CompTIA Security+	CompTIA Network+
1	(例) 熊谷 太郎	25	〇〇情報通信大学他2件	〇〇情報通信大学他3件
2				
3				
4				

調 達 要 領 指 定 書	発 簡 番 号	
	調 達 要 求 番 号	4術校1教12
	調 達 要 求 年 月 日	令和8年 9月 8日
	作 成 部 課	第1教育部サイバー教育科
	作 成 年 月 日	令和8年 9月 3日
品 名	部外委託講習（サイバーセキュリティ関連資格）	
仕様書番号	熊基（1教）－L P S－X 0 0 3	
指定事項：「仕様書の2（2） 役務内容」を下記の通り指定する。		
1. 2（2）ア 履行期間 契約締結後～令和8年11月30日 講習期間：令和8年11月12日～令和8年11月18日（祝休日を除く。） 講習における講師数は、1名とする。		
2. 2（2）イ 実施部隊 (イ)第4術科学校第2教育部第4科（航空自衛隊熊谷基地）		
3. 2（2）ウ 講習参加者数 22名（第5期初級サイバー運用員課程（甲））		
4. 2（2）エ 教育内容 (イ)CompTIA Network+相当 仕様書表1講習範囲Network+項目1～6に示す講義については、 Study Guideとは別に契約相手方で用意する補助教材（紙媒体）を 使用して実施する。 仕様書表1講習範囲Network+項目7に示すCert Master Labsを使用 した実習については、 契約相手方で用意するCert Master Labsに関 する補助教材（レジュメ、演習資料等）を使用して実施するものとす る。 仕様書表1講習範囲Network+項目8に示す理解度確認については、 契約相手方で用意するWeb確認問題を使用して実施するものとする。		
5 2（2）オ 講習形式 CompTIAアカウント数量、24個（講習参加者22名、教官2名） Network+に関する補助教材（紙媒体）数量、24個（講習参加者 22名、教官2名） Cert Master Labsに関する補助教材（レジュメ、演習資料等）数量、 24個（講習参加者22名、教官2名） Network+に関するWeb確認問題数量、24個（講習参加者22名、 教官2名）		